

### 四国八十八所巡拝(徳島)

コロナで順延していたお遍路ですが、再開をして徳島県(阿波)を廻ります。今回は一番からですので新規のご参加もお待ちしています。

記

期間 十一月十七日～十九日

札所 一番から二十三番

宿泊 一泊目 安楽寺

二泊目 徳島市内旅館

会費 三万円(今回補助金で

安くなっています)

定員 十五名から二十名程度

募集の開始は十月十二日からです。初めての方でも心配はありません。お問い合わせも電話をしてください。

なお高知県の巡拝は来年三月十日頃を予定しています。

### 真言宗の基礎知識(その四十二) (弘法大師)

高野山で入定されてのち、八十六年後の延喜三年に大師号が天皇から贈られることになりました。それが契機となり「仏の弟子空海」は「弘法大師」として、ますます崇敬され信仰されるようになって行きます。人間性は陰に隠れ超人的な伝説が強調されていきます。

大師号を天皇からいただかれた高僧は数多くいらっしやいますが、単に「お大師さま」と言えば、弘法大師の事だけを言われています。それはお大師さまが高野山の定窟に入られた後、今にいたるまでの千年を越える歳月、民衆にそばに寄り添い、苦しみを救うことを誓願されていらっしやる事が理由かも知れません。

また、その偉業を広め、弘法大師の名前を宣揚し続けた多数の「高野聖(こうやひじり)」の半僧半俗の人たちが全国を行脚して、人々に伝えて行ったからこそかもしれません。

### 玄冬会 ご案内

前回の玄冬会での続きですが今回は室外で行います。延期されている曾我部氏の探訪を中心に行います。その後三時からすす払いをして、四時からは手打ちそばを食べたいと存じます。ご家族・子どもさん連れも歓迎です。人数に限りがありますのでご予約をお願いします。

- 1、日時 十二月六日(日) 十二時半から十七時
  - 2、場所 上之坊および周辺
  - 3、内容 周辺散策・すす払い(本堂・大仙堂・鐘楼)
  - 4、会費 一家族 五百円
  - 5、汚れてよい服装でマスク。タオルが必要です
- ご希望の方は前日までに電話でご連絡をお願いします。

# 上之坊だより

令和2年10月1日  
第88号

福山市大門町大門325  
電話 (084) 941-1031  
fax (084) 941-1168

## こう ぼう だい し せい ご しょう 弘法大師聖語抄

ごだい ひびきあ じっかい こんご ぐ  
**五大に響き有り 十界に言語を具す**  
 ろくじん ことごと もんじ ほっしん こ じっそう  
**六塵 悉く文字なり、法身は是れ実相なり**

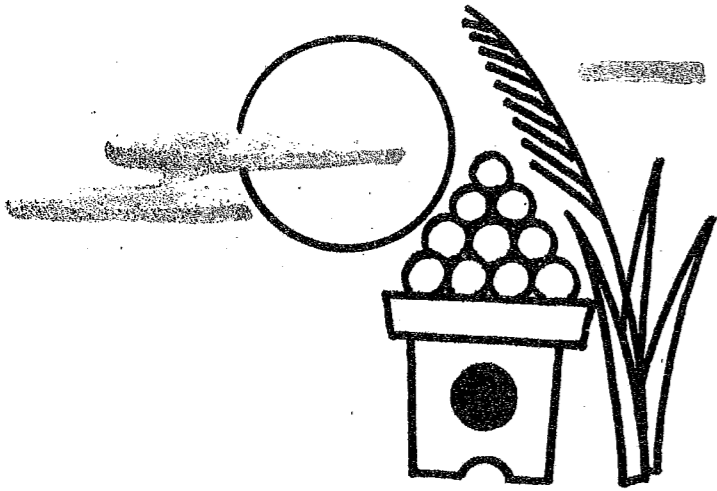
「仏様の教えは我々の周りに満ちている。五大(大地・

水・火・風・空)は全て仏様の声の響きであり、六塵(見る・聞く・香り・味わい・触感・心模様)の感覚もすべてそのメッセージだ」と書かれています。

教典の中に教えがあるのではなく、私達の身の回りの全部に存在するのです。これを知るためには、五感を鈍らせることなく、周囲をよく見て自然の姿を注視しなさいと説かれています。

暑さや寒さ、雨の湿気や肌にあたる風、鳥の声など自然を感じ、人と人の会話やふれあいを通じて喜怒哀楽を心に刻み、毎日の食事も自然からの贈り物と思つて感謝して味わうことなど、生活の全てが仏様の教えです。

自分も含めて、森羅万象すべてが響きあい及ぼし合いながらこの世界を作りあげ、私達はその大自然の中で生かされているのです。



「コロナでここまで変わった葬式」の記事が雑誌に出てました。コロナ禍が私達の生活に大きな影響を及ぼしているのですが、どのくらい大きいのでしょうか。第二次世界大戦以来最大の出来事かも知れませんが、騒ぎが過ぎればあまり大したことではなかったと  
なるかもしれません。

しかし、学校がずっと閉鎖され、海外旅行どころか日本の中でも移動はままならず、外出が困難な日々まで来るとは誰も予想出来なかったことでした。昨日の続きの明日があると思いついてしまった常識が根底からひっくり返ってしまいました。

お寺の周りでは法事や葬儀で、遠くからの親戚は来ることも減り、家族だけで営むことが増えて孤立化が際立っています。生活習慣の変化もあり、人と人のつながりが急速に希薄になってゆくように感じています。

今年も殆どが中止となりました。そしてお葬式も「家族葬」が主流になりつつあります。長年付き合ってきた人でも最後のお別れが出来なくなると、誰が生き  
ていて誰が死んでいるか分からなくなるような錯覚を私はしてしまいました。

実は、そのような傾向は以前から少しずつ続いていたことで、今回のコロナ禍で始まった事ではありません。町内で役割を決めてお葬式を出したり、親戚一同が集まり食事と飲酒をする法事は次第  
に変化して来ていたのです。

コロナ騒動が終息して、すべてが前と同じ日常に戻ってきたとしても仏事や催事が前の姿に戻るでしょうか。コロナ後の日常で仏事を営む本場の意味合いを再度確認する事が必要に思います。

今回の騒動の中で「不要不急の外出は避けましょう」との呼びかけがありました

た。それでも仏事は形式を変えて、これから先の時代にも必要であり続けるはずであると思います。

例えば、直葬（斎場だけで読経して葬儀をしない事）をせずにお通夜の場所  
いいので引導をお渡しすること、心を込めて供養や祈願をすること、日常から離れて四国などのお寺をめぐること、など  
省略できないことも多くあります。

令和二年七月お施餓鬼施食供養者

土砂加持法要 開催

長かった夏の暑さもようやく終わり、少しずつ過ぎやす時期になりました。来る十一月十四日（土曜日）午後一時半より今年も土砂加持法要を開催いたします。今年も形式を少し変え、感染症に気をつけて実施をいたします。

お参りの方は一家族お一人を基本にいたします。ご家族で二人以上ご一緒にお参りの場合はあらかじめご連絡をお願いいたします。人数を把握して会場の広さを調節いたします。

当日は午後一時半より法話、二時よりとうば供養があり、引き続き土砂加持のお勤めを四時前まで予定しております。なお、法要で「板とうば」を造り、お墓に建てたい方はお申し込みください。供養料を含めて三千円となります。

また、お墓に塔婆を建てにくい方は紙の塔婆をつくり供養を行います。供養料は千五百円です。

加持したお土砂をご希望の方は法要終了後にお分け致しますのでお残り願います。板とうば申込みの方には無料でお分け致します。またお土砂のみご希望の方には三百円のお賽銭をご用意下さい。

板とうばや供養のお申込みは別紙にてお申込み下さい。当日参加できない場合は後日の受け取りでも結構です。

なお、明年の年忌名簿については、本堂正面に土砂加持の日より掲示をいたします。

どうぞ、先祖供養をご希望の方はお参りいただきますようにご案内申し上げます。

これからのお寺の行事について

① 今秋に延期された四国巡拝を再開いたします。一番から二十三番までの徳島（阿波）の札所です。半年ずつ実施を延期いたします。三月に高知の予定です。

「Go to Travel」の補助金を利用しますので今回は割安となります。宿泊所はすべて2人部屋で泊り、札所ごとに消毒を実施します。高野山参拝は現在はまだ難しく来春五月予定となります。

② 土砂加持は形式を少し変更して実施をいたします。マスクをしてご参加ください。手指消毒は用意をいたします。なお、人数を把握するためご家族お二人以上の場合は電話にてお知らせください。総代会w。土砂加持の終了後に実施いたします。

③ 玄冬会は戸外での実施を考えております。今回は春にできなかった周辺対策と年末のすす払いをいたします。子どもさんも一緒にお越しください。（要予約）

④ 得度式は来年春三月に延期をいたします。

⑤ 月並護摩祈願は毎月実施いたします。

⑥ 星祭りは参詣者が密にならないよう複数回の開催を行なうことにいたします。（一回六十名程度）

今後のコロナなどの状況で変更があります。四国・高野山や得度式など延期をしていた計画を順次再開いたしますが、当分の間は外での行事を優先してまいります。